

2015年度後期 国際宇宙法実践演習
第11回授業

宇宙の軍事利用：
宇宙技術に関する輸出管理法：衛星編

2015年12月22日
神戸大学法学研究科
高屋友里

◆今週の宇宙ニュース

12月16日 日本経済新聞

「米火星探査に宇宙飛行士求む」

米航空宇宙局(NASA)は2030年代の実現をめざす火星有人探査計画に参加する宇宙飛行士候補の公募を始めた。対象は米国人。米企業が開発中の宇宙船に乗って国際宇宙ステーション(ISS)に滞在するほか、NASAの新型宇宙船「オリオン」の月軌道探査などに参加する。

◆関連ニュース：

NASA Claims: Indisputable Evidence of Water Flows on Mars (1080p)

<https://www.youtube.com/watch?v=MSzoQx6aNml&spfreload=10>

2

輸出管理とは？

背景：

- ・第2次世界大戦直前、米国のルーズベルト政権が対日戦略物資の輸出規制を目的として制定した輸出規制法が最初
- ・第2次世界大戦後、冷戦に突入→米国から旧ソ連へ軍事技術と戦略物資の流出を恐れて1949年に輸出規制法を修正

◆通常兵器

1949年 ココム(対共産圏輸出統制委員会)

→ワッセナー協約(Wassenaar Arrangement)

◆ミサイル・ロケット

MTCR



3

1.1. ココム(対共産圏輸出統制委員会)

経緯：

1949年提唱 1950年発足

COCOM: Coordinating Committee for the Export Control to the Communist Countries

米国の提唱により西欧諸国と米国・カナダが参加して共産圏諸国向けの戦略物資の輸出を規制する制度として発足

内部対立：

規制対象を広げたい米国と狭めたい西欧諸国 例: 鉄くず 米 vs. 英国

COCOMを国際制度にしたいフランスとイタリア(国内の共産勢力が強いため)

日本の加盟：

1951年ワシントンで開かれた極東5か国経済会議で加盟が認められ、1952年加盟

解散：

1991年旧ソ連が崩壊 1994年3月に正式に解散

4

1.2. 原子力供給グループ

NSG: Nuclear Suppliers Group

経緯: IAEA保障措置の下にあった研究用民生原子炉の使用済み燃料から抽出されたプルトニウムがインドの核実験に使用された

→日本を含む7か国により1974年に設立

目的: 民生の原子力施設・活動に関連する資機材や技術／IAEA保障措置外の核関連活動、各核物質のテロ活動への転用を防止

構成国: 48か国

事務所: オーストリア・ウィーン

5

1.3. オーストラリアグループ

AG: Australia Group

経緯:

1984年 イラン・イラク戦争の際にイラクによる化学兵器使用が国連の調査によって明らかになる

1985年 オーストリアを議長国とし、15か国で発足

目的: 化学兵器開発に用い得る化学剤の輸出管理制度を国際的に整備する

生物・化学兵器禁止条約の順守→輸出管理の国際化

(AGの下で行われる情報交換、政策協調を国内の輸出管理に反映)

意義: CWCが化学兵器を規制するのに対し、中間生産物や設備・技術も規制の対象とできる

BWCには条約の検証制度がないため、AGは輸出管理を通じ条約の実効性を補完

6

1.4. ワッセナー協約

WA: Wassenaar Arrangement

経緯: ポストCOCOM

目的: 発展途上国・地域といわゆる拡散懸念国向けに高度な通常兵器およびその製造に用いられる物資や製造技術の移転を防止(不拡散型輸出管理とも呼ばれる)

現在はテロリスト集団など非国家主体への兵器移転を防止

参加国: 41か国(2014年時点)

問題点: WA体制の中核をなす米国・英国・フランス・ロシアが発展途上国への武器輸出を競う
(特に米国は武器輸出全体の70%を占める)

意義: 通常兵器移転の制度的な効果は高くない

7

2. 宇宙技術に関する輸出規制

◆WMD関連(+運搬手段)

1. MTCR
2. NSG
3. AG
4. 国連安保理決議: 対北朝鮮 国連安保理決議 1718 1874 2087 2094

◆通常兵器および軍民両用技術

ワッセナーアレンジメント

+ Catch-All Systems

The List of Dual-Use Goods and Technologies (Category 1 - 9)

Sensors and Lasers (Category 6)

Navigation and Avionics (Category 7)

Aerospace and Propulsions (Category 9)

Sensitive List

Very Sensitive List

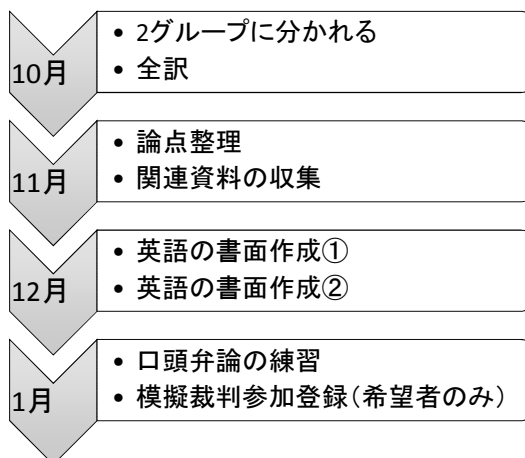
Munitions List

8

第11回授業 終わり

9

マンフレッド・ラクス宇宙法模擬裁判 MANFRED LACHS SPACE LAW MOOT COURT COMPETITION



10

請求事項1

ラスタリア国は、①カラー号および司令官ボルシェ氏の返還拒否、
および、②ポーラ氏の早期返還の拒否により、国際法に違反した？しない？

原告：バンシェ国

主張：違反した

被告：ラスタリア

主張：違反していない

① カラー号：宇宙救助返還協定第5条2
および3項違反

ボルシェ氏：宇宙救助返還協定第4条および
宇宙条約第5条違反

② ポーラ氏：宇宙返還協定第4条違反

① カラー号：宇宙救助返還協定第5条4項
意図しない着陸ではない
緊急性の欠如

ボルシェ氏：宇宙返還協定第4条
(欧州人権条約)

刑事訴訟が未解決

②ポーラ氏：宇宙救助返還協定第4条
宇宙飛行士ではない

終わり